



Make a GOOD PLACE

わたしたちは、働く場、集う場など様々な領域に対し、
建築という枠を超えて課題解決をおこなう会社です。

美しいデザインと機能を追求した建築、
生産性を高めるバックオフィス業務のアウトソーシングサービスなど、
そのすべてをソリューションPMという
共創型の課題解決メソッドでマネジメントしていきます。

Make a GOOD PLACE

わたしたちはお客さまに寄り添い、
より良い場を創造し、社会を豊かにします。

COMPANY

会社情報

より良い場づくりで社会を豊かに

私たちは、リクルートグループのリフォーム業務を手がける企業として、1990年に事業活動をスタートしました。

その後、活動の幅を広げ、オフィスや住宅、商業施設の構築、バックオフィス業務の受託事業を展開してきました。

そして2024年、株式会社GOOD PLACEに社名を変えて新たなスタートを切りました。

ブランドコンセプト「Make a GOOD PLACE」の実現には、絶えず変化し続ける社会を見つめながら、場や空間のあり方を問い続ける力が必要です。

私たちGOOD PLACEは、働き方の多様化に対応したオフィス空間のデザインとバックオフィス業務の提案はもちろん、2050年のカーボンニュートラルに向けた建築プロセスやリノベーションの実践などを通して、これからの社会を豊かにする「GOOD PLACE」について考え、お客さまと共に創造してまいります。



代表取締役会長
枝廣 寿雄

代表取締役社長
宮 信司

会社概要

社名	株式会社GOOD PLACE
設立	1990年1月8日
資本	9,000万円
従業員数	276名（2025年6月16日 現在）
本社所在地	東京都渋谷区東3-14-20 ニューホライズンエビス
支店所在地	大阪府大阪市中央区南本町4-1-10 DPスクエア本町7F
グループ会社	大和ハウス工業株式会社 株式会社コスモスイニシア

沿革

1990年	リクルートグループのリフォーム事業を手掛ける企業として株式会社コスモスモアを設立
1992年	資本金を90百万円に増資
2000年	大阪支店を開設
2005年	コスモスイニシアがMBOにより、リクルートグループから独立
2013年	コスモスイニシアが資本業務提携契約を締結し、大和ハウスグループとなる
2024年	商号を株式会社コスモスモアから株式会社GOOD PLACEへ変更

受賞歴

グッドデザイン賞	
2019年	Mitte Platz
2021年	株式会社リクルート 九段下オフィス
日経ニューオフィス賞	
2021年	株式会社リクルート 九段下オフィス
iF DESIGN AWARD	
2021年	HOTEL KYOTOLOGY
2022年	株式会社リクルート 九段下オフィス TOKYO SPORT PLAYGROUND SPORT×ART
2025年	株式会社ゴールドウイン 東京本社オフィス
ARCHITECTURE MASTER PRIZE	
2020年	HOTEL KYOTOLOGY
2021年	株式会社リクルート 九段下オフィス TOKYO SPORT PLAYGROUND SPORT×ART
A' Design Award	
2021年	HOTEL KYOTOLOGY (Iron)
2025年	株式会社ゴールドウイン 東京本社オフィス (Silver) 株式会社リクルート 梅田オフィス (Silver) セルリソーシズ株式会社 羽田Process Development Center (Bronze) JP-BASE 人形町 (Iron)

建設業許可	国土交通大臣許可 (特-3) 第19103号 / 国土交通大臣許可 (般-3) 第19103号
一級建築士事務所登録	東京都知事登録 第31997号 / 大阪府知事登録 (ホ) 第18804号
宅地建物取引業許可	東京都知事 (8) 第61874号

SERVICE

事業

3つの事業を通して良い場をつくる

GOOD PLACEは、建物再生（リノベーション）、オフィス構築、アウトソーシングという3つの事業を通して、建築の領域を超えた場づくりを提案します。

RENOVATION 建物再生



建物の再生による価値向上

デザイン力と技術力をかけ合わせ、その建物ならではの価値を向上させる最適なリノベーションをご提案します。

→ P.09

WORK PLACE オフィス構築



「働く」をサポートするオフィス空間を構築

オフィス空間に特化したプロジェクトチームが、働き方とビジネスの変化に対応した課題解決を実践します。

→ P.17

OUTSOURCING アウトソーシング



業務の「質」でお客様の事業をサポート

成果に対する分析力を強めとし、継続的な業務改善の提案を通して、企業の生産性向上に寄与します。

→ P.25

METHOD

手 法

お客さまの課題を 解決するための独自メソッド

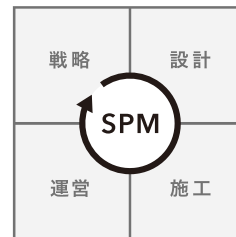
お客さまの課題を本質的な解決に導くために、GOOD PLACEでは独自のメソッドを採用しています。

プロジェクトのキックオフからすべてのプロセスに伴走する「ソリューションPM」と、コンセプトおよびユーザーエクスペリエンスを軸に空間を設計する「シーンデザイン」を通して、お客さまの企業活動に寄り添った提案をおこないます。

SOLUTION PM ソリューションPM

課題解決のパートナー

ソリューションPMがプロジェクト専任の担当窓口となり、課題解決のプロセスである戦略、設計、施工、運営のフェーズ全体に伴走していきます。

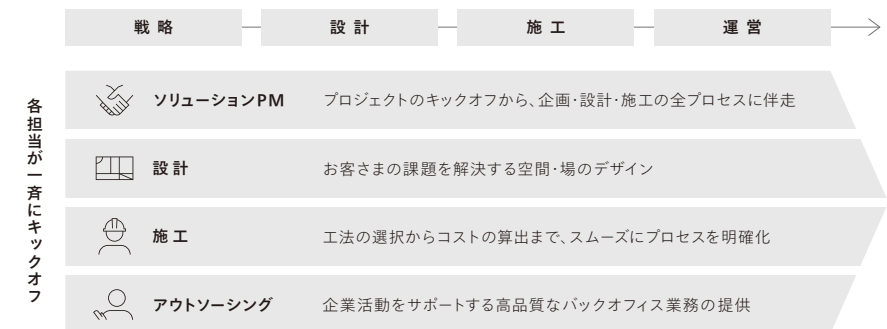


※SPM=ソリューションPM

課題解決のプロセス

プロジェクト進行の際には、ソリューションPMをはじめ、設計・施工・アウトソーシングの各プロフェッショナルが、キックオフの段階から参画します。

各領域の知見を活かし合いながら、課題解決に向けたプロセスをプロジェクトチームで取り組んでいきます。



SCENE DESIGN シーンデザイン

人の動きを意識した空間設計

コンセプトとユーザーエクスペリエンスを通して浮かび上がる、時間軸を意識した空間のイメージを「シーン」として定義しています。

お客さまの企業活動に寄り添い、未来のユーザーの姿を想像したシーンデザインを実践することで、ソリューションとしての空間を提案しています。

Concept

その空間が目指す未来を
「言葉」と「ビジュアル」で表現

デザインのテーマを「言葉」と「ビジュアル」で表現することで、お客さまが目指す企業活動のソリューションとしての空間設計を提案します。



User Experience

その空間で過ごす
ユーザーのインサイトをすくい上げた提案

設計する空間のターゲットを明確化し、ユーザーのインサイトを満たす体験を設計します。

RENOVATION

建物再生

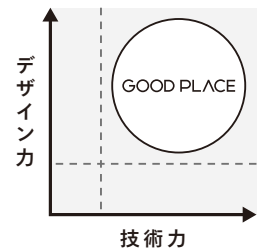
建物の再生による価値向上

GOOD PLACEのリノベーションでは、ソリューションPM・設計・施工が一体となってプロジェクトに伴走。デザイン力と技術力をかけ合わせ、その建物ならではの価値を向上させる、最適なリノベーションをご提案します。

わたしたちの強み

デザイン力 × 技術力

GOOD PLACEでは、目に見える価値「デザイン力」と見えない価値「技術力」を、それぞれ以下のように定義しています。
建物の構造・築年数・使用目的・予算に加え、建物の歴史や地域特性、お客さまの企業理念などを大切にしながら新しい価値を創造していきます。



デザイン力

企画

課題解決に向けてあらゆる視点からアイデアを出し、プロジェクトの筋道を立てます。

コンセプトデザイン

様々な情報を分析し、プロジェクトのゴールを導き出します。

設計

建物の持つ魅力を活かしながら、設定したゴールを実現するためのアイデアを提案します。

技術力

施工力

コスト・工期の最適化を図りながら、難易度の高い工事も確実に遂行します。

法規コンサルティング

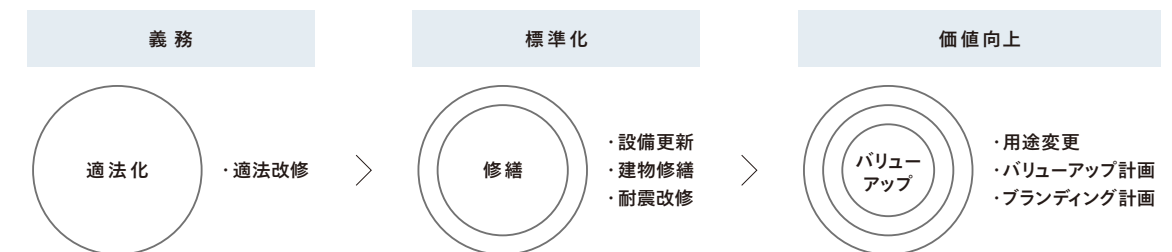
リスクを洗い出し、建物の違法性を担保しながら課題解決を図ります。

プロジェクトマネジメント

関係各所と連携をとりながら、ソリューションPMがプロジェクトを推進します。

課題解決の手法

適法化・修繕・バリューアップという3つの観点から、最適な課題解決策をご提案します。





M.BALANCE+ GINZA EAST クラシックとモダンが調和する開放的なオフィスビル

クライアント 株式会社マリモ

ご相談背景 築年数が経過した建物のバリューアップを目指し、フルリノベーションによってセットアップオフィスにする計画。商品力を高めるデザイン性と、スピード感のある施工能力を期待され、依頼を受けました。

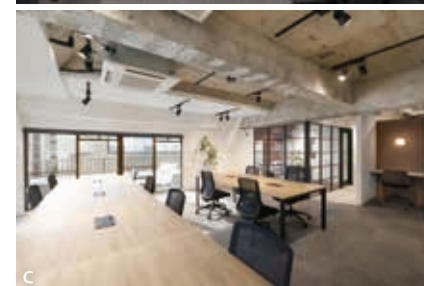
コンセプト neo classic

シーンデザイン 元々は黄土色であった外壁を、白と黒で構成されたモダンな外観にすることで、街に対するビルのイメージを一新しました。
アイレベルである1階は、黒色のタイルとサッシへ変更することにより従来の印象を変え、内部から漏れ出る光と相まって街ゆく人々の視線を惹きつけます。
エントランス及び各フロアは、スケルトン天井にすることで天井高を最大限確保し、シャンパンゴールドやボルドーのカラー、ガラス格子のデザインを用いて、荒々しくも上品な空間を作り上げています。

実施内容 設計 / 施工 / PM

規模 206坪

立地 東京都中央区



A: 上質な素材感のスエード調シートを纏った柱やボール型のブラケット照明など、インテリアでコンセプトの「neo classic」を表現しているエリアです。

B: 待合スペースやちょっとした打ち合わせなど多目的に利用できるラウンジ空間です。

C: 元々住宅として使われていた空間をオフィス仕様にコンバージョン。掃き出し窓はそのまま利用しテラスを設置して、会議室にガラスのパーティションを採用することで、開放的な空間を演出しました。

D: 落ち着いた雰囲気オープンミーティングエリア。壁面には吸音効果のあるカーテンを用い、音環境の向上を狙っています。開放感と静寂の共存が「neo classic」です。

Photo by Kudo Original Photo



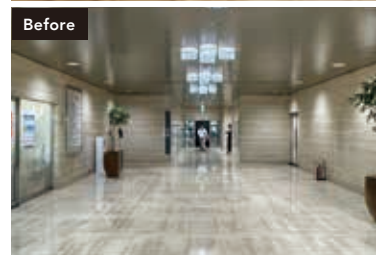
関電不動産京都ビル ビル入居者や地域住民が、歴史の魅力に触れながら過ごせる憩いの場

クライアント	関電不動産開発株式会社
ご相談背景	築40年の建物の長期運用とバリューアップを目的とした、エントランス・外構の改修プロジェクト。お客さまの推進するビルブランディングを体現したデザインが高く評価され、ご依頼いただきました。
コンセプト	歴史を未来につなぐ
シーンデザイン	建設当時から使用されている壁床のトラバーチン(大理石)を磨き上げ、隣接した京都関電ビルディングを設計した武田五一氏のデザイン手法を取り入れた装飾天井と組み合わせることにより、気品あふれるレトロラグジュアリーなエントランスを実現しました。ビル利用者や歩行者が気軽に利用できる街のオアシスを目指して外構もリニューアル。流線的な動線、透過性のあるブロック塀、程よい距離感に配置したベンチにより、歩行者と滞在者が互いの存在を感じながらも心地よく過ごせる空間を創出し、街に新たな価値を提供しています。

実施内容	設計 / 施工 / PM
規模	212坪
立地	京都府京都市



ベンチに座ったときの目線や人の動きを考慮して設計した外構。彫刻家・清水九兵衛氏によるモニュメント「CONNECTION」にかけて、人々が集まり「つながり」を創出する場を目指しています。



青白く冷たい雰囲気から、重厚感・気品がありながらもあたたかい空間へ生まれ変わったエントランス。



- A: 明るくなったビルエントランスには、関電不動産開発のビルコンセプトが掲げられています。
- B: 改修前から壁面や床に使われていたトラバーチンは、すべて磨き直して残し、経年による価値を活かしました。
- C: エントランスの装飾天井には、隣接する京都関電ビルディングを設計した関西建築界の父・武田五一氏のデザイン手法を取り入れました。

Photo by Keiko Chiba (Nacasa & Partners)



THE GOAT AWAJI 保養所を改修した、淡路島の歴史が息づく非日常感あふれるラグジュアリーホテル

クライアント	株式会社キコークリエイト
ご相談背景	元々保養所として利用されていた築35年3階建RC造の建物改修に加え、ヴィラ棟を新築しハイエンドかつラグジュアリーな宿泊施設をつくりたいという要望をいただきました。
コンセプト	～異世界へ誘う～ いざな
シーンデザイン	淡路島は、関西で人気のリゾート地としてすでに多くの宿泊施設が建っているため「THE GOAT AWAJI」でしか体験できない特別感を作り出し、他の施設と差別化を図ることが重要と考えました。 淡路島が舞台になっている『国生み神話』に登場する神様「イザナミ」からインスピレーションを得て、非日常感が味わえる『異世界へ誘う』というデザインコンセプトを掲げ、よくある南国っぽさではなく、他の世界と隔離されたような独自の世界観を演出しています。

実施内容	設計 / 施工 / PM
設計	株式会社GOOD PLACE (改修棟) onsu architects 一級建築士事務所 (ヴィア棟)
施工・PM	株式会社GOOD PLACE
規模	180坪
立地	兵庫県淡路市



既存建物はリノベーションを行い、テニスコート部分には平屋のヴィラを2棟建てました。アプローチを彩る繊細な植栽が、日常から一步隔てられた独自の世界感を演出します。



既存設備や梁などの必要要素は残したまま、折り上げ天井を採用したり窓や室内の間仕切りに大きなガラスを使用したりと、新たな機能・デザイン性を備えた客室に生まれ変わりました。



A: リビング・ダイニングと寝室の仕切り扉を開けると、
一体感のある空間に。既存建物のメリットを残し、
デメリットを強みに変える設計を行いました。

B: すべての客室に広いリビング・ダイニング、キッチン、2部屋のベッドルーム、サウナ・ジャグジーを完備。ヴィラ棟の2室には専用プールが付いています。

C: 壁面は重厚感のある建材を使用し、荘厳な雰囲気。上部は繊細な組子とシャンデリアのようなペンダントライトが光と影を織りなし、洗礼された空間になるよう設計しました。

Photo by Keiko Chiba (Nacasa & Partners)

WORK PLACE

オフィス構築

「働く」をサポートするオフィス空間を構築

これまでにGOOD PLACEは、
働き方とビジネスの変化に対応した課題解決を実践し続けてきました。
オフィス空間に特化したプロジェクトチームが、
従業員のみなさまの「働く」をサポートする場を構築します。

わたしたちができること

企画・設計・施工が 一体となった総合的な提案

働き方のトレンドや社会の変化に対応
してきたこれまでの知見を活かし、ソリュー
ションPM・設計・施工からなるプロジェクト
チームがオフィス構築のパートナーとして
プロジェクトに伴走します。
従業員のみなさまの生き生きとした働き
方を実現する新たなオフィス空間を提案
します。

企業の課題に 寄り添うオフィス空間の提案

GOOD PLACEでは、お客さまが抱える
課題をオフィス空間で解決します。
メーカーにとらわれない最適な什器の
セレクトから造作家具のデザイン、小物
ひとつのセレクトにいたるまで、お客さまの
独自性が感じられる空間構築を目指し
ます。

リニューアル後のスムーズな 就業開始を実現する移転コーディネート

インテリアや家具のセレクトといった
空間構築のご提案だけでなく、オフィス
移転に伴うすべてのコーディネートが
可能です。
移転・リニューアル後の初日から、従業員の
みなさまのスムーズな就業開始を実現
します。

サービス内容とフロー



ヒアリング



企画・プレゼンテーション



設計



施工



移転コーディネート



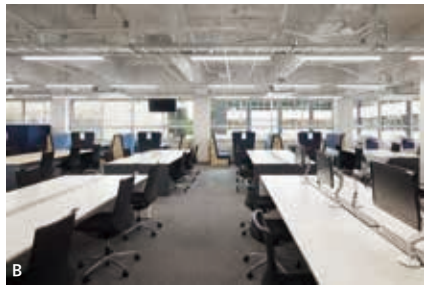
竣工



株式会社リクルート 九段下オフィス 新しいオフィススタンダードを体現

ご相談背景	ワーカーの増員対応や賃料の効率化等の経営課題に対し、築古の大規模なビルを賃借してリノベーション。 コロナ渦により希薄化してしまったつながりを再構築するためのコミュニケーションの場の創出を重要視したオフィスづくりを要望されました。
コンセプト	だんだんつながる、だんだんひろがる 築古ビル×テクノロジーが切り開くワーカーの新しい未来
シーンデザイン	築古ビルに、来客対応や全ワーカーが共有で使えるパブリックエリア、業務に集中しやすいフォーカス・ワークエリアなど、多棟の強みを活かして人々が集う為の空間をバリエーション豊かにつくりました。 全てを新しく刷新するのではなく、ビルが元々持つ経年の魅力も保ちながら現代の働き方にフィットするよう、様々なテクノロジーも兼ね備えたオフィスとなっています。

実施内容	設計 / 施工 / PM
設計	スキーマ建築計画 (1～2階、7階什器) 株式会社GOOD PLACE (3～7階)
施工・PM	株式会社GOOD PLACE
サインデザイン	株式会社village®
規模	3,500坪
立地	東京都千代田区



A: 全5棟からなる歴史ある築古ビルに、来客対応や全ワーカーが共有で使えるパブリックエリア、業務に集中しやすいフォーカス・ワークエリアなど、多棟の強みを活かして人々が集う為の空間をバリエーション豊かにつくりました。

B: パーティションで囲われたブース席、ソファ席、オープンデスク席と、ワーカーの集中度に応じて働き方を変えられるようエリアをグラデーション状にゾーニングしました。照明はサーカディアン照明を採用。

C: 既存ビルの高い天井高を活かしたメインエントランス。床のレンガと呼应するような赤色の家具が空間を彩ります。

Photo by Keiko Chiba (Nacasa & Partners)



大和ライフネクスト株式会社 本社オフィス 発信と交流が広がる、スタジオがあるオフィス

ご相談背景 本社から全国の支店へ発信できるスタジオを新たに作りたいというご要望に加え、来客者が多く訪れるエントランスをリニューアルしたいというご相談を受けました。

コンセプト 発信と交流

シーンデザイン 新しく設けた本格的なスタジオエリアは、本社から全国の支店へ映像を配信できる新たな発信の場として、これからを象徴する先進的な空間としました。ソファやテーブル席、ビッグカウンターなども設け、自由に働けるスペースとしても利用できます。エントランス・ウェーティングエリアは、社風や歴史を表現した優しくあたたかな雰囲気の空間としました。竣工当時のレンガの壁を活かして、ビルが元々持っている魅力と新しい素材を掛け合わせています。

実施内容 設計 / 施工 / PM

規模 278坪

立地 東京都港区



B



C



D



A: 従業員の皆さまが持つ柔らかい雰囲気をイメージし、優しくあたたかみのあるエントランス空間を作りました。エントランスに入って右手側がお客さまを迎え入れるウェーティングエリアとなっています。

B: 天井を高くして、躯体・配管を白く塗装することでパティオからの柔らかい光が反射する明るい空間へと変わりました。コンクリートやレンガの荒い素材と自然素材のテラゾーカウンターやフローリングの木の柔らかい印象の素材のバランスが心地よいエリアです。

C: 本格的な機材が入るガラス張りのスタジオ。全社へ向けて社長メッセージなどの収録配信ができます。

D: パティオからみるスタジオエリア。

Photo by Keiko Chiba (Nacasa & Partners)



株式会社 PKSHA Technology オフィス 公園のような潤いとくつろぎが広がる場

ご相談背景 どこでも働ける時代になっているからこそ、オフィスに来てリアルなコミュニケーションを大切にしてほしいというお客さまの要望から、2ビル5フロアと複数にまたがるオフィスフロアの役割を整理し、社内コミュニケーションの活性化を目指しました。

コンセプト POCKET PARK

シーンデザイン ひとつの空間のなかにも利用シーンに応じて変化を感じるグラデーションをつけました。光がよく入る窓側エリアは高い天井高を保持してパブリックな印象に、奥に進むにつれて床レベルを段々に上げることで天井高を低くし、プライベート感を演出しました。
素材は「organic & authentic」というキーワードのもと、自然素材を積極的に用い、グリーンをふんだんに取り入れることで、モルタル仕上げのシンプルな空間が持つ空気にメリハリを生み出しています。

実施内容 設計 / 施工 / PM
規模 100坪
立地 東京都文京区



A



B



A: 奥にいくほど床レベルを上げ、くつろげるソファタイプの家具を置くなどプライベート感のある空間としました。

B: 床レベルの異なるエリアごとに家具の種類を変えることで、気分に応じて場所を選ぶことができます。家具は動かしやすくシンプルなものを選定し、人数に応じて柔軟に対応できるフレキシブルなエリアになっています。

Photo by Keiko Chiba (Nacasa & Partners)

OUTSOURCING

アウトソーシング

業務の「質」でお客様の事業をサポート

オフィス構築事業で培った、
従業員の方が安心して働ける環境づくりの知見を活かし、
バックオフィス業務を通じてお客様の事業活動をサポートしています。
現状に対する分析力を強みとし、継続的な業務改善の提案を通して、
企業の生産性向上に寄与します。

わたしたちができること

お客さまごとに カスタマイズする業務設計

スーパーバイザーがお客さまの課題をヒアリングし、その課題に合わせて最適な業務設計をご提案します。
委託業務を担当するスタッフは常駐やオンライン、または常駐とオンラインを組み合わせたハイブリッド型などでの対応が可能です。

業務の「質」を 安定させる仕組みづくり

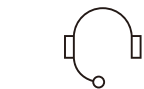
アウトソーシング事業では、業務の高い品質を維持するための仕組みづくりを徹底しています。
業務のローテーションやマニュアル作成といった属人化を避ける取り組みを通して、業務品質を安定させています。

オフィス事業の 知見を活かした幅広い提案

オフィス構築事業を通して培ったノウハウを活かした提案が可能なことも、GOOD PLACEの大きな強みです。
オフィス構築のスペシャリストと知見を共有することで、日々の働き方に寄り添う業務改善が可能です。

サービス一覧

ご提供できるサービスは約350種類以上。現状の業務と一緒に整理してご提案いたします。



総務・事務・庶務業務



ファシリティ対応



受付業務



メール便業務



BCP関連業務

ほか多数

選べるアウトソーシングのスタイル

常駐型からオンライン型まで、業務内容に応じた様々なスタイルが選べます。
柔軟かつ高いオペレーション品質で、お客様のニーズに応えます。

常駐

オンライン

総務コンサル



テルモ株式会社 パートナーとして業務改善に取り組んだ10年の歩み

業種	精密機器
本社所在地	東京都渋谷区
従業員数	5,000名以上

2013年1月の受託開始から徐々に受託業務の幅を広げ、現在GOOD PLACEで148種類の総務業務をご支援している大手医療機器メーカーのテルモ株式会社様。

パートナーとして業務改善に取り組んだ10年の歩みについて、テルモ株式会社で総務業務を担うコーポレートアフェアーズ部長の今田明広様にお話をいただきました。

(聞き手: 株式会社GOOD PLACE ソリューションPM部 サービスカウンター課 課長 原田真友子)

マニュアル作成からスタートした10年間の伴走

株式会社GOOD PLACE 原田 (以下 原田):

テルモ様とは2013年よりお取引をさせていただいており、振り返るとちょうど10年間お付き合いが続いています。

改めて、GOOD PLACEに依頼された時のことをお聞かせいただけますか？

テルモ株式会社 今田様 (以下 今田様):

当時、弊社の総務部では、社内のさまざまなオペレーション業務を担うだけでなく、事業のグローバル化にともなう業務の拡大が求められていました。GOOD PLACEさんにお声がけさせていただく以前から、メール

ルーム業務を外部に委託していたのですが、サービス業務からプランニング業務に集中するためにも、より広範囲に委託業務をお願いできるパートナーを探していたんです。

原田: GOOD PLACEに依頼された決め手はなんでしたか？

今田様: GOOD PLACEさんは、正式な依頼の前から視察やヒアリングのために現場へ足を運んでいただいております。

弊社の総務部は現場感覚をととても大事にしているので、こちらの視点に立って考えるGOOD PLACEさんの熱意を高く評価させていただいた次第です。

原田: 当時、お声がけいただいてから受託までのあいだに、何度かオフィスに伺い、ヒアリングを実施いたしました。働きやすい環境の整備や社員の方々とのコミュニケーションに重きを置いていらっしゃる、テルモ様の姿勢が印象的だったのを覚えています。

当時、東京オフィスが八重洲から現在の初台へと移転することが決まっていたタイミングでもありました。

今田様: そうでしたね。弊社もオフィス移転を好機ととらえており、よりサービスの質を向上させたいと考えていました。

委託開始にあたり、社内で標準化が徹底されていない業務も少なくなかったため、すぐにお渡しするのは難しいのではないかと考えていたのですが、GOOD PLACEさんに業務フローをヒアリングいただき、マニュアル化を進めていただいたのはありがたかったですね。

すぐに移行できる業務と、習得に時間が

かかる業務、運用に関わる業務の3つに棚卸しいただき、委託までの段取りを整えていただきました。

原田: GOOD PLACEから改善のためのご提案を差し上げる際には、これまでの支援実績で得られた知見に基づいたアイデアや選択肢をご提示させていただいております。

関わっているスタッフもたくさんいますので、偏りのない、俯瞰した意見を提案できるようなチームワークを意識しています。

安定的な運用の継続と改善を実現するために

今田様: GOOD PLACEさんのチームはメンバーに変更があったとしても業務の品質を落とすことなく、すぐにキャッチアップされていることにも驚かされます。

弊社内でも、人事異動などによってメンバー変更があった際に仕事の効率やレベル、正確性が落ちないように苦心していますが、GOOD PLACEさんの安定した運用には感心させられます。

原田: 10年間ご支援させていただいてきたなかで、メンバーそれぞれのライフプランによる異動や休職、退職がありましたが、品質を落とさないためにも、フォロー体制や引き継ぎ方を進化させてきました。

属人化を避け、ひとつの業務に対して大体2、3名が必ず把握している状態を常に維持しています。なかでもマニュアルに関しては、新しいスタッフが入るたびにより伝わりやすいものにブラッシュアップさせており、歩みを止めないようにしております。



今田様: 依頼当初の弊社の状況から、事業のグローバル化は進んでおり、もしGOOD PLACEさんに業務を委託していなかったら、現在のようにプランニング業務に集中できるような状態では到底なかっただろうと考えています。

今後は総務以外の委託にも徐々に拡大できればと思っており、早速先日、人事部が担当していた一部の業務を依頼させていただきました。

これからも関係を継続させていただきながら、サービスの向上につながるお仕事をご一緒できればと考えています。

原田: 近年、総務部の枠を超えた業務のご相談をいただくことが増えており、私たちも、さらにお受けできる仕事の領域を広げていきたいと考えています。

サービスの開始から10年を迎えましたが、これからも総務アウトソーシングにとどまらないさまざまな提案を継続させていただきたい気持ちです。

今後もGOOD PLACEの知見を活かしながらご支援を継続させていただければと思いますので、引き続きよろしく願い申し上げます。

2023年6月 取材記事より抜粋
Photo by Hiroshi Tanimoto



自然電力株式会社 自律分散型組織のカルチャーを支えるバックオフィス

業種	電気・ガス
本社所在地	福岡県福岡市
従業員数	200名以上
スタッフ数	2名
受託業務数	55業務

文書管理	請求処理	印章管理
受付対応	郵便物対応	施設管理
事務用品・備品管理	ポータルサイト管理	ほか多数

「青い地球を未来につなぐ。」をパーパスに掲げ、2011年に創業した自然電力株式会社様。GOOD PLACEは2022年の5月から、スタートアップ企業の同社ならではの特徴である、自律分散型組織に対応した総務業務のサポートを実践しています。People Experience部の落合伸子様に、ご支援のスタートから現在に至るまでの過程についてお話しいただきました。

(聞き手: 株式会社GOOD PLACE ソリューションPM部 サービスカウンター課 マネージャー 二宮千依)

杓子定規ではない 柔軟なコミュニケーション

株式会社GOOD PLACE 二宮 (以下 二宮):
自然電力様とのお取引のはじまりは、2021年10月にWebサイトからお問い合わせいただいたことがきっかけでした。ご依頼当時の背景をお聞かせいただけますか？

自然電力株式会社 落合様 (以下 落合様):
GOOD PLACEさんに依頼する以前は、総務業務の一部を派遣社員とアルバイトの方をお願いしていたのですが、それぞれの事情で退職される方が続き、その度に業務の引き継ぎが必要になっていた状態でした。業務の属人化への課題意識もあったので、

アウトソース先としての総務のプロフェッショナル企業を探していたんです。実はほかにも3社ほどに相談してはいたのですが、支援事例とともにもっとも具体的なサポート内容についてお話しいただいたのがGOOD PLACEさんでした。

できる限り業務を属人化させない仕組みをつくることは、依頼当初の大きな課題としてあったので、我々みんなが腑に落ちるような提案をいただいたことも、GOOD PLACEさんに決めた理由として大きかったです。マニュアル自体はすでに揃ってはいたのですが、ベンチャー出身の社員が中心のため教える文化に慣れていないせいか、重要なところが抜けていたり、ルールが不明瞭だったり、誰が見てもわかるマニュアルになっていませんでした。

二宮:「あとはよしなに」といった場合が多かったので、そこを明確化していく感じでしたね。もちろんマニュアルの作り方は、会社によって背景や事情、カルチャーがあるので、拝見した際に気になったことを一つずつお伝えするようにしています。すぐにできる業務改善というのは存在しないので、まずはお客さまの現状を深く理解し、より良くするために何ができるのか、それを考えることからスタートしていきました。

落合様: 我々のオペレーションだととても時間がかかってしまっていたものを、総務のスペシャリストの視点から時間短縮のアイデアをご提案いただいたのも助かりました。難しいオペレーションについては率直にご意見をいただいたので、やり方を見直すきっかけになりましたし、簡略化するために

できることを相談しながら一緒に考えることができましたと思います。

自律分散型組織における バックオフィスのあり方

二宮: 社内のオペレーションが整った状態ではないお客さまのご依頼をお受けすることは、GOOD PLACEが実践しているオーダーメイドのご支援そのものでもあります。スタッフにとっては大変な場面もあると思いますが、私たちに必要な姿勢だと考えています。

私たちとしては、劇的な改善提案はまだまだこれからだと考えていますが、承認フローを集約して整理したことは、自然電力様の総務サポートの中でも一つの成果だと思っています。

落合様: たしかに、そこはまさに属人化していた部分だったので、整理いただいたことで、承認者が変わった場合にも対応できるようになったと思います。フロントの事業をスムーズに支援するためには、バックオフィスの整備が不可欠だと思っています。

私たちのような自律分散型組織は、自由で風通しが良い一方で、統制が利きにくいという面もあります。自然電力はこのカルチャーでうまくいっているので、属人化してしまう業務をいかにパッケージ化するかが課題でした。

二宮: それぞれ組織の考え方が違えど、総務業務の原理原則は変わらないと思って



います。基本的にはルールとなる業務範囲の境界線を定めて、それらに対してどんなアプローチをするかでしか無いんですよね。自律性の高い組織ではコミュニケーションスキルが求められますし、ルールへの接し方にこそ、総務の姿勢が問われると思います。私たちにあって属人化の解決は、もっとも大事にしていることであり、それができない限りは企業のお役に立てないという意識があります。

落合様: GOOD PLACEさんのスタッフは、私たちがあまり気づかないことにも気を配ってくださっていますし、社員に対して柔らかく接していただいているので、気軽に話しかけやすく、私たちのオフィスを守る存在としてとてもありがたく思っています。おかげさまでバックオフィス業務や庶務を完全にお任せできているので、社内規定の作成やリスクマネジメントなど、会社の根本となる仕事や、土台をつくる業務に集中できるようになりました。これからも引き続き、現在ご支援いただいている業務の習熟度を高めていただくことはもちろん、我々としても、スタッフの方にとってこの場所での経験が別の仕事にも役立つような職場環境にできればと思っています。

2023年8月 取材記事より抜粋
Photo by Hiroshi Tanimoto

mobica

WORKとLIFEを最大限に楽しむクルマ

好きな場所へ移動しながら車内外で 快適に働くことができるワーケーションカー

「mobica」は、約30年にわたって働く場をつくり続けてきた当社が考えた、好きな場所へ移動しながら車内外で快適に働くことができるワーケーションカーです。

車内にはコンセントやUSB電源が搭載されたポータブル電源を積載しているほか、Wi-Fiも完備しています。

働き方の柔軟性が求められる世の中で、従来のオフィスビルなどの「不動産」の中での働き方だけでなく、モビリティをオフィス化した「可動産※」を利用することで、働く場所も好きな場所を気軽に選んでほしい。いつもの仕事を、好きな場所で。そんな想いから、場所にとらわれない新たなワークスタイルが当たり前になる社会の実現を目指し、「mobica」を使った新しい働き方・ライフスタイルを提案してまいります。

※土地及び土地に定着したものが「不動産」と表現することに対し、
移動できるものを「可動産」としています。



予約方法

専用サイトにて、mobicaの予約が可能です。

<https://mobica-worklife.com>



SUSTAINABILITY

サステナビリティ

建築業界のサステナビリティ推進に向けて

ブランドコンセプト「Make a GOOD PLACE」の実現には、建築が影響をおよぼす環境へのまなざしが不可欠です。

お客さまやユーザーの課題はもちろん、私たちが暮らす社会や環境が抱える課題を解決に導くことで、ブランドコンセプトははじめて達成されます。

私たちは「Make a GOOD PLACE」の継続的な実現のためにも、サステナビリティへの取り組みと企業活動の両立を目指し、建築の枠を超えたサステナブルな提案を推進してまいります。

さらに、ソリューションPM・設計・施工を一貫して手がける当社の特徴を最大限に活かし、建築業界のサステナビリティ推進におけるリーダーシップを発揮していきます。



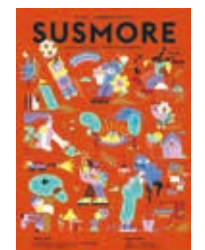
カーボンウォッチ

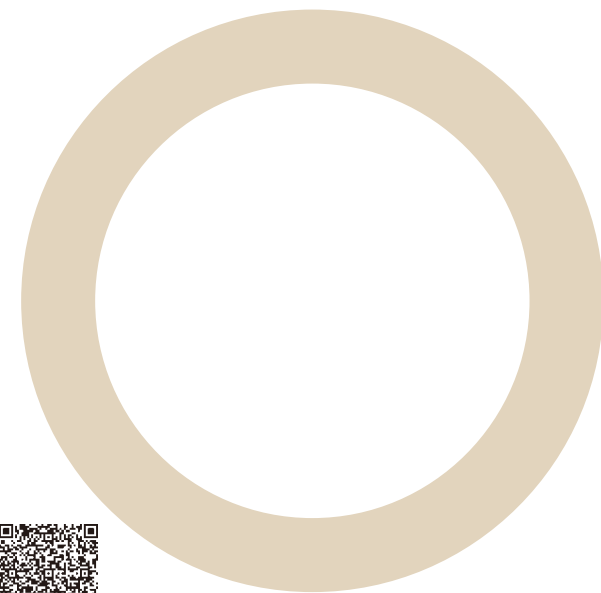
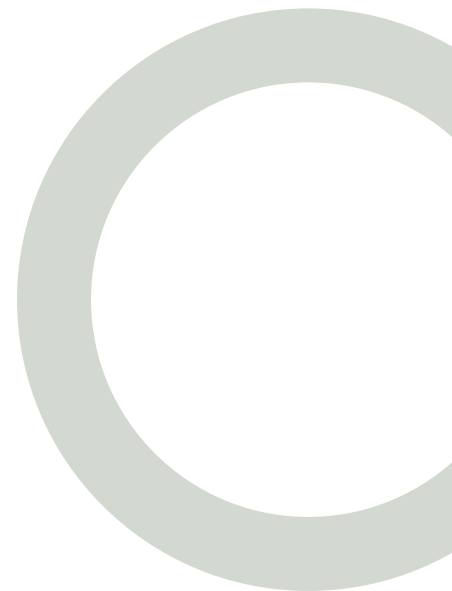
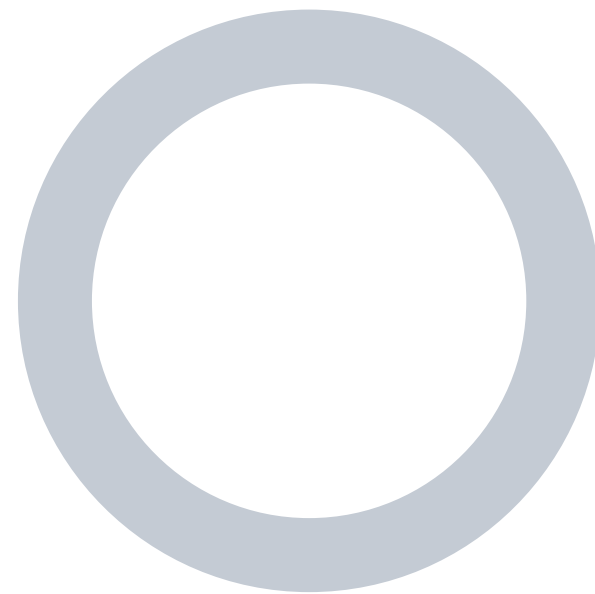
当社が請け負う建築工事で排出されるCO₂を算出するサービス。CSR活動を推進するお客さまのCO₂排出量抑制、削減に貢献いたします。



サスモア

事業活動や社会活動の中でおこなってきたサステナビリティの取り組みを年間誌にまとめています。





コーポレートサイトはこちら

